



Illustration: Maki Kobayashi

## 高額医薬品の保険適用 財政との兼ね合いが課題に

白血病などの新しい免疫療法製品である新薬が、5月22日から公的な医療保険で使うことができるようになりました。その公定価格は約3350万円。厚生労働省によると、国内で保険適用された薬の単価としては過去最高額とのこと。既に使われている欧米での価格約4000万~6000万円に比べると低く設定されました。

白血病などのうち、再発・難病性患者が対象で、患者数は年間216人、市場規模は72億円になる見込みです。こうした画期的な新薬の出現は、これまで治療方法がなかった患者にとっては朗報ですが、2年前に1人年間3500万円(当初)かかるとされた

皮膚がん治療薬オプジーボのことが思い出されます。対象となる疾病の範囲が拡大され、医療保険財政に大きな影響を与えると懸念されたため、薬価制度の見直しにより、現在は1000万円強に引き下げられました。

近年、遺伝子組み換え技術を用いて製造されるバイオ医薬品が新薬開発の主流となり、開発費などがかさむことが高額化につながっているようです。画期的な新薬が開発されて保険適用されることは、高額療養費制度により低廉な自己負担で誰もがその恩恵を受けられることになり、皆保険制度の観点からは望ましいことです。

一方、高額な薬が増え保険適用されてい

くと、医療保険財政への大きな影響が懸念されます。オプジーボのように薬価の引き下げも考えられますが、米国では1回の治療が2億3千万円という超高額の難病薬が認可されたところ。これを薬価の引き下げで対応できるかは疑問です。

国民医療費が増加の一途をたどる中、限られた財源で医療保険を維持していくためには、個人で負担しきれないリスクに重点化し、保険で給付する範囲を見直すことが求められます。例えば、湿布やビタミン剤、医療用医薬品と同様の成分が含まれている市販薬を保険の対象から外すことなどが想定されます。

### 知っておきたい 健保のコト

#### vol.3 わが国独自の「高額療養費制度」

私たちは医療機関を受診した場合、かかった医療費の原則1~3割に相当する自己負担(一部負担金)を窓口で支払います(自己負担割合は年齢や所得により異なります)。

高額療養費制度は、手術で入院するなど医療費の支払いが高額になったときに、家計に及ぼす影響が大きくなならないよう、自己負担を軽減する目的で1973年に設けられました。その後、度重なる制度改正が行われ、2012年1月に、より負担能力に応じた負担に着目し、70歳未満

の限度額の基準となる所得区分を3区分から5区分に細分化し、現在に至っています。

今回、話題の白血病の治療薬の場合、投与は1回のみで約3350万円です。本来ならばこの3割、約1千万円の支払いになりますが、標準報酬月額(給与)が28万円以上50万円未満の人の場合、計算式に当てはめると41万円強で済むこととなります(表を参照)。こうした仕組みはわが国独自のもので、その差額は加入している医療保険者が負担しているのです。

#### 自己負担限度額の計算式(70歳未満の場合)

所得区分	自己負担限度額
標準報酬月額83万円以上	25万2600円+ (医療費-84万2000円)×1%
標準報酬月額53万~79万円	16万7400円+ (医療費-55万8000円)×1%
標準報酬月額28万~50万円	8万100円+ (医療費-26万7000円)×1%
標準報酬月額26万円以下	5万7600円
低所得者(住民税非課税)	3万5400円

注:世帯合算の場合や70歳以上については別の算式による

Illustration:Sachiyo Fukui



すこやか  
特集

# セルフメディケーションをご存じですか？

よこさわ かつゆき  
監修：與五澤克行(日本OTC医薬品協会 顧問 薬剤師)

## 1 まずは自分の体と向き合う習慣を

世の中には健康に良いと分かっているにもかかわらず、なかなか踏み出せないことが多いものです。規則正しい食事や運動などの健康管理もその1つでしょう。健康に関する情報やツールはあふれていますが、自分に適したものを選び、実践、継続すると、思いのほか容易ではありません。

セルフメディケーションは、世界保健機関(WHO)で「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義されています。まずは自分の体と向き合う習慣を付けることから始めてみませんか。そうすれば、ちょっとした体調の変化にも気付くようになり、自身の生活を省みるなど「手当て」もしやすくなるはずです。

自分の体と向き合う習慣で分かりやすい例が「歯みがき」です。歯みがきは、大半の人が食後や就寝前に当たり前のように行っていますが、口内を清潔にし、歯や歯ぐきの健康を守るためなどという目的意識を毎回持って、みがいている人は少ないかもしれません。まさにこれがセルフメディケーションの目指すところです。



**7月24日は、セルフメディケーションの日**

日本OTC医薬品協会は、2017年から7月24日を「セルフメディケーションの日」と定め、毎年その日を含む1週間をセルフメディケーション週間としています。これは日本に限ったことではなく、「International Self-Care Day」と銘打ち、世界各国でも健康増進に関するさまざまなイベントが行われています。

## 2 7本の柱で健やかな毎日を支える

さて、セルフメディケーションを習慣化する上で目安になるのが、毎日の健康を支える「7本の柱」です。

1. 健康リテラシー
2. 健診・検診の受診
3. 適度な運動
4. 適切な食事
5. 禁煙
6. 衛生管理(手洗い、うがい、歯みがきなど)
7. OTC医薬品の適切使用



この中で、「どう取り組みばいいの…?」と思われるのが「健康リテラシー」ではないでしょうか。健康リテラシーは、健康や医療に関する情報を入手し、理解、評価して実際に活用する能力のことをいいます。正しい健康情報を得ることが重要ですが、最も良い方法は職場や住んでいる地域で、気軽に相談できる医師や薬剤師を見つけることです。薬局の基本的な機能に加え、健康相談にも応じる「健康サポート薬局」の活用もおすすめです。

「OTC医薬品の適切使用」は、医療機関にかかるほどではないちょっとした不調のときに、OTC医薬品を上手に使うことで自分で対処するという事です。ただし、医薬品は薬局で購入する必要があるため、少しでも不安があったり、分からないことがある場合は、店舗内の薬剤師や登録販売者に相談しましょう。

### OTC医薬品とは？

OTC医薬品のOTCとは「Over The Counter」の頭文字で、かつては「市販薬」「大衆薬」と呼ばれ、薬局などで処方せんなしに購入できる薬のことです。含有する成分などにより、4つのカテゴリーに分類されており、薬剤師や登録販売者の説明を受けないと購入できないものもあります。



### 情報提供する専門家と医薬品の分類

OTC医薬品分類	対応する専門家	販売者から客への説明	インターネット、郵便等での販売
<b>要指導医薬品</b> OTC医薬品として初めて市販されたもので、取り扱いに <b>十分注意を要するもの</b>	薬剤師 (不在の場合は不可)	書面での情報提供が義務となっている	不可
<b>第1類医薬品</b> 副作用、相互作用などの項目で、安全性上、 <b>特に注意を要するもの</b>	薬剤師 または 登録販売者	できる限り対応すること	可
<b>第2類医薬品</b> 副作用、相互作用などの項目で、安全性上、 <b>注意を要するもの</b> ※より注意を要するものは指定第2類医薬品			
<b>第3類医薬品</b> 上記以外の一般用医薬品			

※いずれの分類も客からの相談には、必ず対応しなければならない。

(日本OTC医薬品協会「セルフメディケーションハンドブック 正しく知ろう!薬の使い方」)

### COLUMN

#### Check! 対象のOTC医薬品購入費が年間1万2000円を超えると所得控除にセルフメディケーション税制

2017年1月1日からスタートした「セルフメディケーション税制」により、対象となるOTC医薬品の購入金額が年間1万2000円を超えると、確定申告で所得税控除を受けられます。この制度は医療費控除の特例であるため、従来の医療費控除とセルフメディケーション税制は選択制となります。どちらの制度を利用するかは、控除額を試算した上で有利な方を選択することになります。

詳しくは厚生労働省のウェブサイトも参考にしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124853.html>

## 3 健康寿命の延伸に貢献

「セルフメディケーション、もうやっているなあ」と思う人も多いかもしれません。熱っぽいときや、喉が痛いというとき、ドラッグストアで風邪薬を購入して服用したり、風邪をひきそうと思ったら、温かいものを食べていつもより早めに就寝したり……。それらはれっきとしたセルフメディケーションです。すでにセルフメディケーションを実践している人は、自らの健康を管理する「管理者目線」に一層磨きをかけましょう。

若いときはともかく、ある程度の年齢に差し掛かったら、何かしらの対策を講じなければ、健康を維持することが難しくなります。自身で健康を管理するという考え方は、健康寿命の延伸という観点からも大切なことといえます。

健康維持・増進や疾病予防、また慢性疾患がある人は重症化させないために、ぜひ日常生活の中にセルフメディケーションを取り入れてみては。食後の歯みがきのように、「1日の始まりと終わりに自身の体調と向き合う」ことから始めてみませんか。

離れて暮らす親のケア

いつも心は寄り添って Vol.88

NPO法人パオッコ  
~離れて暮らす親のケアを考える会~  
理事長 太田差恵子

親が入院、保証人は？

離れて暮らす親が病気やけがで入院したとの連絡があると、急いで病院に向かうことになるでしょう。

到着した際に、入院手続きが完了していない場合は、すぐに行う必要があります。その際、通常「身元保証人」を記載します。入院費用の支払いや緊急時の連絡対応、不幸にして死亡した際の遺体の引き取りなどを保証するものです。病院によっては、1名ではなく2名、また、別に「緊急連絡先」を求めるところもあります。

先月、Tさん(40代)の1人暮らしの母親が転倒して緊急入院しました。片道5時間の距離を駆け付けたTさんは、入院手続きを行い、保証人の欄に署名。すると、「遠方ですね。近くに親戚の方はいらっしゃいませんか」と病院の職員から問われたそうです。そこで、母親と同じ自治体に

暮らす叔母にお願いしたところ、叔母は快く引き受けてくれました。しかし、転院の話が出ると、「責任が重いから、これ以上は…」と辞退してきたそうです。

Tさんは、「次の病院で受け入れてもらえなかったらどうしよう」と悩んでいました。しかし、もし何か言われても、「家族はみんな、遠方に暮らしています」と言えば良いのです。Tさんが保証人になることを拒まれる理由はありません。

それどころか、厚生労働省は「身元保証人などがいないことのみを理由に、患者の入院を拒否することは医師法に抵触する」との解釈を示しています。

ある程度の規模の病院には相談室も用意されているので、困ったことがあれば、率直に事情を話してみましょう。



Illustration: Tetsuzi Yamaguchi

ほっとひと息、  
ここにビタミン

Vol.16 精神科医 大野 裕

人間関係のコツは微調整

自分の言動がまわりからズレているのではないかと悩んでいる人は少なくありません。日本は同調圧力の強い社会で、他の人とあまりズレないように発言したり行動したりすることが期待されます。

そのために、他の人の言動がどうしても気になりますし、人と話がかみ合わないことがあると、自分の言っていることがどこか間違っているのではないかと心配になります。その結果、自信をなくして自分の世界に閉じこもりがちになることもあります。そうするとますます人間関係がうまくいかなくなると、自分を追いつめることになるので注意しなくてはなりません。

しかし、そのような心配をしている人は、そんなに悩む必要はないと、私は考えています。心配になるということは、それだけまわりに対して気を配ることができているということでもあります。人間関係がうまくいかないのは、周囲とのズレに気付かないだけでなく、そもそも「自分がまわりとズレているのではないかと気にすることもないような人の場

合です。

ですから、そのようにまわりに気配りできる自分の力を信じるようにしてください。その上で、どのような場面でズレを感じたのか、そのときにどのようなことが起きていたのか、そこにどのような問題があるのかについて、具体的に考えてみてください。もし何か現実的な問題があれば、その問題を少しでも解決できるよう工夫してみてください。

そのように現実との関係を微調整できる余裕を持つことができれば、人間関係は自然に良くなっていくはずです。



Illustration: Natsuko Hayashi

積極的な治療が可能な病院に転院したい

私の相談



妻(52歳)は半年前、腰痛を訴えて病院の整形外科を受診しました。しかし、腰痛の原因は整形外科的なことではなく、内科疾患を疑われ、さまざまな検査を受けたのですが、なかなか診断が付きませんでした。

症状が悪化する一方だったので、別の病院に転院して調べてもらったところ、化膿性脊椎炎であることが分かりました。しかし、治療効果も上がりずどんどん悪化し、今では四肢麻痺で寝たきりになり、呼吸も人工呼吸器に頼っている状態です。

現在の病院は3カ所目なのですが、「当院は積極的な治療をする病院なので、奥さんの場合は対象になりません。そろそろ転院を」と言われ、転院先として療養病床の病院を複数

示されました。どんな病院かを確認してから転院を決めたくて見に行ったのですが、いずれの病院も高齢者で寝たきりの人が入院していて、とてもそんなところに52歳の妻を入院させる気持ちにはなれません。

何とか積極的な治療をしてもらえないかと思い、複数の病院にセカンドオピニオンを求めました。なかには積極的な治療の対象になると言ってくれた病院もありましたが、入院を希望すると「人工呼吸器を付けた患者さん是对応できない」と断られました。どうすれば積極的な治療をしてもらえる病院に転院できるのでしょうか。

COML 患者の悩み相談室 Vol.28

山口育子 (COML)



まだお若いだけに、何とか積極的な治療を受けて良くなってほしいとご家族が希望されるお気持ちは痛いほど分かります。し

かし、現在入院されている病院では、既に積極的な治療の対象ではないと判断されているため、治療をしてもらえる病院は紹介できないと言われていたとのことでした。

現在は医療機能の分化が進み、急性期の治療対象でない患者さんは回復期や慢性期の医療機関を勧められます。そのため、もし急性期病院での入院を希望するとすれば、「まだ治療の対象となる」と言ってくれる病院を探し出し、入院の受け入れをお願い

いするしかないのです。そこで、セカンドオピニオンで積極的な治療が可能と言ってくれた医師に、受け入れてくれる病院の可能性についてさらに相談してみるのも一案かと思います。



Illustration: MIW Morita

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML (コムル)

「かしこい患者にならしましょう」を合言葉に、患者中心の開かれた医療の実現を目指す市民グループ  
詳しくはCOMLホームページへ <http://www.coml.gr.jp/>  
電話医療相談 ☎06-6314-1652 月・水・金9:00~16:00(受付は15:30)・土9:00~12:00  
※ただし、月曜日が祝日の場合、翌火曜日に対応

健康  
マメ知識

薬には主作用と副作用がある

痛みを抑えたり、症状を緩和する薬本来の働きを「主作用」、薬が原因で顔や体に発疹が出たり、胃が痛くなるなど、本来の目的外の好ましくない働きを「副作用」といいます。

例えば、頭痛薬は「解熱鎮痛」が主作用ですが、一方で胃粘液の分泌を抑える作用があるため、副作用として「胃・十二指腸の炎症」が起きることがあります。風邪薬や鼻炎薬などに配合されている抗ヒスタミン薬

は「鼻炎を抑え、鼻水を止める」主作用に対し、神経の伝達を抑える作用もあるため「眠気、倦怠感、口の渇き」などの副作用が出ることも。

必要以上に副作用を心配する必要はありませんが、説明書をよく読み、用法、用量を正しく守ることが大切です。薬局などで薬を購入する際は、どのような副作用があるのか、自分の体質に合っているかを、薬剤師や登録販売者に相談しましょう。